白根市政だより

新潟県白根市
発行所　白根市役所
発行人　吉沢正五
印刷所　笹岡印刷所

人口動態

（11月中）

総人口	世帯	6,067		
	男	35,797		
	女	16,990		
		18,807		
出生	40	転入	40	
死亡	16	転出	93	
婚姻	54	離婚	8	

謹賀新春

年頭の御挨拶

議会議長　野崎平松

皆さん、明けましておめでとうございます。

ここに希望の新春を迎えるにあたり、みなさんのご清福と、ご繁栄を心からお祈りいたします。

わたくしは、昨年五月図らずも議長の重職に就任いたしましたが、その後、議会の円満なる運営と、市政の伸展を第一義として、誠心誠意、努力いたしておりますが、市勢の発展を期するためには、前途に解決を要する問題が数多く横たわっております。

顧みますと、わが白根市は市制発足以来四年目を迎えたのでありまして、わたくしは、本年こそは、本市躍進の年として、更に一段と愛郷精神を振起し、謙虚と誠実を心とし、事に臨んでは果断に、これを行なうという決意をしております。

昭和三十七年が、みなさまにとりまして、最良の年でありますよう、心からお祈りいたします。

年頭のごあいさつ

白根市長　吉沢正五

明けましておめでとうございます。

新しい年を迎えるにあたり今年こそ健康で、明るい年でありますようにと、みなさんとともに願ってやみません。

昨年を顧みますと、雪害、水害、そして風害と、度重なる災害に見舞われ、「災害に明け、災害に暮れた」ような感さえするのでありまして、市民のみなさんにはさぞ御難儀の多い年であったことと思います。この機会をおかりして心から御慰労申し上げます。不肖吉沢も、市長就任以来満一ヶ年を迎えることになりましたが、大過なく今日にいたりましたことは、これ一重に市民のみなさん、並びに関係機関からの絶大なる御協力と御支援によるものと、深く感謝申し上げる次第であります。

永年の念願でありました高等学校の設置については、市民一丸とした運動が効を奏し、設置決定をみましたことは、既に御承知のとおりでありまして、このたび敷地問題も円満解決し、ただいまでは整地作業にはいっておりますが、何分にも多額の地元負担を必要とする仕事でありますので、その資金対策等、これからもいろ〳〵な問題があろうかと思われますが、子女教育、市発展のため今後ともみなさんの御協力をお願いいたします。

その他、地盤沈下、国道八号線問題等も漸く軌道にのりつつありますが、災害復旧事業その他と共に、新年度に継続される、幾多重要問題についても、初期の目的を達成するため、今後共懸命の努力をいたす覚悟であります。

「市民経済の向上なくして市の発展もなく、市民全体の幸福もあり得ない」と信じ市政の進展に全力を傾注いたす所存でありますので、昨年に倍して一層の御支援と御鞭撻の程を切望してやみません。

県知事選挙終る

—投票率　六十八%—

去る十一月十二日告示以来約一ヶ月間に亘る選挙戦も十二月七日をもって終了した。

投票日は、朝からの悪天候が災いしてか、投票率は県平均を下回る成績となった。本市における状況は、次のとおりであります。

各投票所別投票率

投票区	投票所	有権者数	投票者数	棄権者数	投票率
1	市役所	二、六八〇	一、九五五	七二五	七三、三
2	第二保育園	二、九六八	二、一三九	八二九	七二、九
3	小戸学校	四八九	三六八	一二一	七五、三
4	小茨曽根学校	一、一八八	七〇五	四八三	五九、三
5	小新飯田学校	一、三五五	九五六	三九九	七一、六
6	沖新保育園	四五三	二八五	一六七	六二、九
7	庄内駐在所	一、三三三	九八二	三五〇	六四、一
8	錦物師典野保育所	五五四	三八五	一六九	六九、四
9	平潟倉庫	三三七	二三一	九六	六九、〇
10	小林小学校	七〇三	四九一	二一二	六九、九
11	小戸小学校	五九六	四一	一八五	六八、九
12	小白井学校	一、三〇四	八六六	四三八	六六、四
13	笠巻保育所	七八三	五三三	二三〇	六八、〇
14	大郷保育園	八六二	五三三	二三〇	六二、七
15	大保育園	九三三	六二六	三〇七	六六、七
16	鷲ノ木保育園	一、〇一四	六五七	三五七	六四、七
17	中野俣公会堂	五六八	三七五	一九三	六七、一
18	根岸駐在所	七五八	四八二	二九六	六三、五
19	高井小学校	五六三	四一三	一五〇	七三、五
20	白根小学校鯵潟分校	八六四	五四〇	三二四	六二、五
合計		二〇、四三	一三、九三	六、四八〇	六八、二九

◎各候補者の得票数

小田俊与	五九票	塚田十一郎	六、七九九票
		小林孝平	七、〇二二票

基本選挙人名簿確定

人員数　二〇、八二一　前回より五三人減

昨年九月十五日現在で調整いたしました基本選挙人名簿が、十二月二十日に確定いたしました。各投票区別の状況はつぎのとおりであります。

投票区	確定数	整理	補充	選挙人名簿	合計
第一投票区	二、七七	五		五	二、七二
二	三、〇〇七	五		五	三、〇一三
三	四九八	〇		〇	四九八
四	一、二一〇	〇		〇	一、二一〇
五	一、三五九	四		三	一、三五二
六	四二一	〇		三	四二一
七	一、五六九	二		二	一、五六八
八	五六九	〇		〇	五六九
九	三四四	〇		〇	三四四
十	七一〇	二		二	七一二
十一	六二〇	〇		〇	六二〇
十二	一、三三一	一		一	一、三三二
十三	七四八				七四八
十四	八六三	一		一	八六四
十五	一、〇二三	三		三	一、〇二六
十六	四二二	一		一	四二三
十七	五五二	一		一	五五二
十八	七七八	一		一	七七九
十九	五五八	一		一	五五九
二十	八六四	一		一	八六五
合計	二〇、七四三	三七		三一	二〇、八二一

白根市農業の振興方策に対する市長諮問の答申 No. 2

2. 果樹園整改善

果樹

果樹は本市にありては、米につぐ重要なもので、需要の伸びが期待される。商品作物として市場競争に打勝つため、基礎改善に重点を置く

(1)共同販売体制の確立

現況における最大の欠陥は共販組織の劣弱にある。共販体制の確立を図ること。この体制なき限り、生産が増加しても逆に所得が減少する。次の対策を講ずること。

イ、品種統一

雑品種が多い。優良品種に更新すること。

ロ、病害虫防除体制の確立

品質の均一のため、協同防除作業の励行。

(2)栽培地集団化事業の推進

分散円地を集合せしめ、円地の大型化を図ること。散在する小円地が協業を困難ならしめ発展を阻む。姑息的な手段を排し、抜本的な改善策をたてること。

(3)圃場区劃の整理

作業の合理化のため、農道を設け区劃を整理する。

(4)土壌改良の推進

地下水が果樹の生育を阻害し生産を抑制する。土壌生産力培養のため、暗渠施設により地下水を排除する。

花卉球根

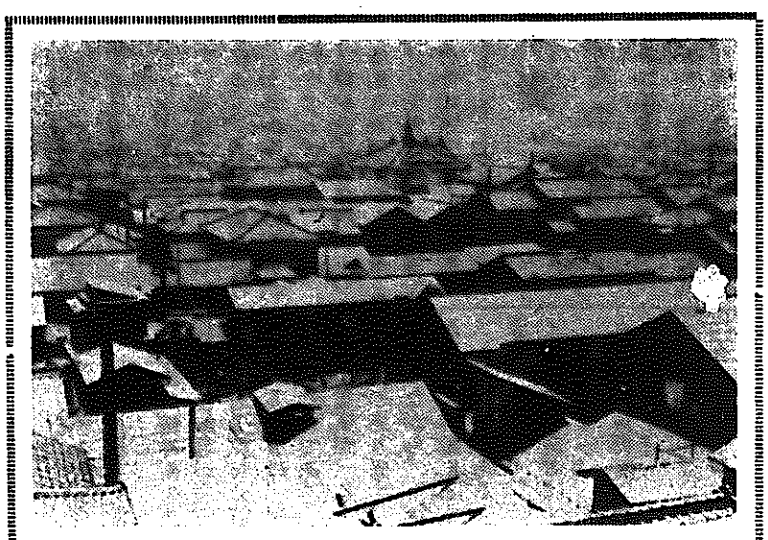
輸出農産物としての球根は、本市の成長作物とする。休閑地の土地利用等で、栽培を奨励すること。

(1)作付登録制の実施

戸々の任意による作付は、流通過程に混乱を起す。需給計画にもとづき作付の登録制を実施すること。

(2)種苗圃の設置

生産の拡大と、品質の改良のため優良品種々苗圃を設置する。



平地路　すらすら散り彩を裁る雲雪つとひ風

3. 蔬菜

生鮮農産物としての蔬菜は流通対策に重点を置く。

(1)生産地の形成

適地適作にもとづき、地帯別特産の育成を図ること。

(2)契約栽培の実施

特産の育成により、安定生産を目的とする契約栽培を実施すること。

4. 流通動向調査の実施

果樹園芸は、自由市場における他産地との争競である。次の対策を要する。

(1)消費地における市場動向調査

(2)他産地における生産調査

5. 畜産改善

農業経営として畜産は不可欠の要素である。しかるに本市畜産の現状は決して、経営としての畜産でない。戦前となんら向上が認められない原因は多々あるも、その主なるものに流通価格の不安定と、極めて少ない飼育単位で収入もまた極めて僅少等が理由である。故に畜産の発展には、飼育単位の引上げと、自給飼料対策の確立である。次の対策を講ずること。

(1)自給飼料並飼料調整施設の充実

飼料作物集団モデル栽培圃場の設置、飼料調整施設を農協に設置する。

(2)施設の協同化

集団飼育施設を設け、経営の合理化を図る。

(3)価格対策

価格の安定は、畜産を発展せしめる政策の実現を要請する。

(4)技術改善対策

畜産技術は、甚だ幼稚である。市に畜産専門技術員を設け、巡回指導せしめる。

—成人式近づく—

必ず住民登録を！

毎年一月十五日に開催されます今年度の成人式も、あますところ数日となりました。今年度の成人該当者は、昭和十六年四月二日から昭和十七年四月一日までに出生した者で、市の住民登録簿に登載されていなければなりません。該当者で住居等を移動され、まだ住民登録の手続がすんでおらないお方は、大至急その手続きをすませて下さい。

尚成人式について不明な点は市の公民館にお問い合せ下さい。